

J F M A 版緊急時対応訓練モデルシナリオ案

緊急時における訓練の重要性は各組織で認識されています。また、昨今の人事異動等により災害対応ノウハウの継承に課題が出てきています。

本訓練自衛消防隊の「防災訓練」ではなく、その後の長い取り組みについて現地対策本部・本社対策本部においてファシリティマネジャーがどのように取り組むかを考えたいと思います。

1.目的

「ファシリティマネジャーに役立つ緊急時対応訓練のモデルを提供し、緊急時対応力の向上を図る」

今回の訓練では、被災地における「現地災害対策本部」を編成し主に施設に関する問題等について対策本部がどのように対応するかを体験する訓練としたいと思います。時間軸としては、発生直後の「緊急時対応（人命救助・二次災害防止）」段階を終え、これから組織的に事案に対応する段階を想定します。緊急時対応から事業継続へ体制を転換して対応の主軸を移していく流れの中でのファシリティマネジャーの役割や重要性について再確認したいと思います。

本シナリオは、ファシリティマネジャーが訓練の進行役として訓練実施の参考となるモデルを提供したいと思います。

2.訓練概要

13:30-14:00 自己紹介・概要説明

14:00-14:40 前段訓練

休憩・役割交代

14:50-15:30 後段訓練

15:30-16:00 意見交換

- ・ 状況付与型グループミーティングの形式とする。
- ・ 編成は1グループ5-6名編成とする。
訓練会場の班は、「現地災害対策本部」として災害発生現地の対応を演習する。
(会場内に「本社対策本部」も設置して連携等についても演習する。)
- ・ 対応組織はICSの五つの組織機能（指揮調整・運用対応・計画情報・調達管理・財務総務）を基準に現地対策本部を編成する。
- ・ 進行は、「進行役(セノン・上倉)」が情報提供・状況付与を行う。
- ・ 行動の成否、一般被害状況等の付与は「世の中・判定役(品質部会・渡邊様)」が行う。
- ・ 東北地区からスカイプで参加の品質部会員が「マスコミ役」として情報提供する。

- ・ 訓練モデルのシナリオ・進行等の評価・改善のために、研究部会員数名が「評価者」として訓練評価を行う。（「行動」の評価ではなく、シナリオの評価）
- ・ 「前段」と「後段」で役割を交代して行う予定です。
- ・ 企業備蓄は、訓練難易度もしくはランクに合わせ「揃っている」「最低限はある」「足りない」の状況を作成し、「カード」等でイメージしやすくする。

訓練は1回であるため、最初に持ち点100~200点を備蓄・資器材に割り当てて準備してある想定としたい。

備蓄品：食糧 30食・10点、飲料水 500ml 50本・5点、圧縮毛布 10枚・20点、エマージェンシーシート 10個・5点、

資器材：担架 1個・20点、ブルーシート 4×4m 2枚・1点、不織布担架 1枚・1点、携帯ラジオ 1台・3点、バール等救出機材 1セット・4点、救急セット 10人用・10点、救急セット 30人用・20点、LEDランタン 3個・10点、ヘルメットライト 3個・10点、携帯ライト 3個・10点、ヘルメット 10個・10点、軍手 10枚・1点、防刃作業グローブ 10枚・10点、マスク 100枚・1点、作業ゴーグル 3個・1点、エンジン発電機 1台及び8時間分の燃料・15点、ポータブルガスコンロ・ケトル・予備ボンベ 3本セット・3点

例) 50人分とした場合

食糧・30食5セット 50点、飲料水 150本 15点、エマージェンシーシート 30個 15点、救急セット 1セット 20点 計 100点

※十分な資器材がある場合と、不足の場合の難易度設定を「持ち点」で設定できます。

◆備蓄品カードはセノンにて作成中です。21日に持参します。

3.状況付与の方法

- ・ プロジェクター投影…関連する様々な情報等を表示
- ・ 進行役…被災状況、行動・決心に関する状況提示
- ・ マスコミ…品質部会東北参加者が報道役でマスコミ情報を付与
- ・ 世の中役…行動・決心の判定およびプレイヤーからの問い合わせ対応（今回は初回のため臨機応変の対応となりますが、ファシリティマネージャーが訓練する場合の「世の中役」をどうするかが、訓練実施後の意見交換での検討課題の一つと思います。）

4.仕掛け

A・前段演習(発災時を想定)

・ 火災対応、負傷者救出等の自衛消防隊対応段階は終了し現地対策本部が立ち上がった状況。

- ・ 状況付与に対し、現地対策本部が実施すべき対応について決心・行動する。

表の狙い：「災害対応」発生する事象、入手できる情報に対する対応（災害や施設に関する

るインプット情報に対して、現地災害対策本部としての対応活動を行います。)

課題となる事象案 (その他さまざまな苦難が降りかかります)

- ・ 停電 (地震発生時や復電後の計画停電)・断水・下水使用障害・天井落下、照明落下
- ・ 事務所内書庫等の転倒・IT設備、通信設備の被害・傷病者発生、救護所設置
- ・ 施設内残留措置、宿泊対応・事件事故防止処置、施設内立ち入り制限
- ・ 業務再開に向けたファシリティ再構築

裏の狙い：事業継続に向けた「撤退戦術」の準備 (現地側は被災地からの円滑・安全な離脱の準備。本社側は代替え施設の準備と要員の再配置検討などの検討に進めばよいと思います。) 東京側の進行に合わせ、「表のインプット情報」と現地対策本部からの報告に基づいた、現地支援策、事業所代替え等の対応について検討する。

B・後段演習(発災後数時間経過後を想定)

・災害直後の混乱期を乗り越え、翌日以降の対応を検討する段階で、施設の状況や外部からの要求に対する施設側の対応を検討する。

表の狙い：帰宅困難者対応

課題となる事象案 (その他さまざまな苦難が降りかかります)

- ・ 避難者、帰宅困難者受け入れ・周辺地域からの人的支援要請・周辺地域からの施設利用依頼

裏の狙い：事業継続に向けた対応

前段同様に、「表のインプット情報」に基づき事業継続に向けた対応を検討する。

◆モデル企業の想定

演習用・想定企業 会社名「JFMA 工業株式会社」

- ・ 業種 電子部品販売・プリント基板実装
- ・ 本社 大阪 東京支社・関東営業部 浜町
- ・ 従業員数 150名（日本人社員 大阪本社65名、東京50名、吹田工場30名、ベトナム5名、ベトナム人社員30名）
- ・ 拠点 吹田工場（完成品組み立て、研究開発）、ベトナム・ハノイ工場（プリント基板実装）
- ・ 売上高 200億円

1.会社組織

A 社長：統括

B 副社長：製造部門統括（吹田工場、研究開発部門、ベトナム担当）

C 専務取締役：管理部門統括 管理部長（総務課長、人事課長、経理課長を統括、FM?）

D 常務取締役：営業部門統括 営業部長（全社の4人の営業課長を統括）

以上 大阪本社駐在

東京側：E 取締役 東京支社長

総務課長（大阪・東京に1ずつ名駐在）、人事課長（大阪駐在）、財務経理課長（大阪と東京に駐在）、システム課長（大阪駐在）、東京営業課長（東京駐在）、購買課長（東京駐在）

◆大阪本社（5階建ての自社ビル）

社長---副社長---専務取締役・管理部長-----総務課長（FM部門責任者・金庫開権限者）
 -----人事課長
 -----財務経理課長（全社財務・関西ネットBK）
 -----システム課長（ITシステム責任者）
 ---常務取締役・営業部長-----営業課長（4名・関西顧客担当）

◆東京支店（中規模ビル内に3階4階の2フロアを賃貸中）

---取締役・東京支店長-----東京営業課長（関東顧客担当）
 -----購買課長（原材料等調達）
 -----総務課長（金庫開権限者）
 -----財務経理課長（関東地区ネットBK）

◆吹田工場

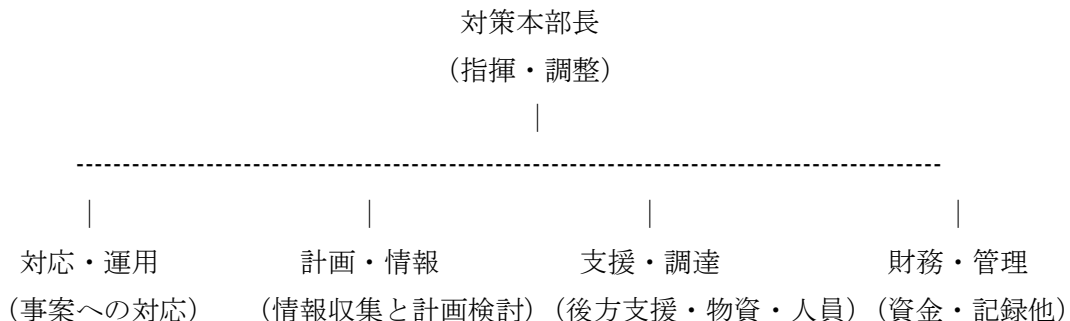
副社長-----製造部長
 -----研究開発部長

2. 会社業務内容

- ・ 主として、日本および韓国の携帯電話メーカー、自動車メーカーより、フレキシブル基盤（携帯電話に使うような折り曲げられる基盤）の設計を受注した後、製品のレベルに応じて、ベトナム製造現地法人（低価格標準品・大量受注の場合）、および吹田工場（高級仕様・カスタムメイドの場合）へ製造発注をかける。
- ・ 原材料・資材の調達は、東京の購買課長が担当、国内取引先（吹田工場の場合）および香港の取引先商社（ベトナム工場の場合）から調達して、製造拠点に供給する。
- ・ 完成した基盤は、
 - ①ベトナムから成田空港へ一部空輸、一部、香港経由、横浜港へ海上運送
 - ②吹田工場から、国内取引先の組み立て工場（栃木県）へ陸送
 となるが、納入オペレーションは、大阪の営業部と東京の営業課がコントロールをしている。
- ・ 顧客の連絡先や受発注データについては、営業部（関西の顧客担当）、東京営業課（関東の顧客担当）が社内データベースにて管理している。
- ・ システム課は大阪にあり、全社を管理するホストコンピューター・サーバーは大阪本社内にあるが、バックアップサイトはない。東京支社には、サーバーが設置されているが、バックアップ体制はない。
- ・ 管理本部には、CADにて全社のファシリティデータが管理・保存されている。
- ・ 財務・経理業務は、大阪本社、東京支社で関西分、関東を担当しており、M銀行のEバンキングシステムで入金管理、支払い業務を行っている。サーバーは大阪、東京に設置。小払い用現金証券類は、大阪、東京の耐火金庫内にあり、管理本部、総務課の課長がそれぞれ開閉コード（番号の組み合わせ）を管理している。

3. 緊急時の対応組織

同社では、災害や事故発生時の対応組織として下記の組織体制を採用している



※大阪本社・東京支店共に同じ組織構成としています。大阪本社側はプレーヤーが少ないですので、兼務でお願いします。

● 対応組織の訓練時の役割分担イメージ

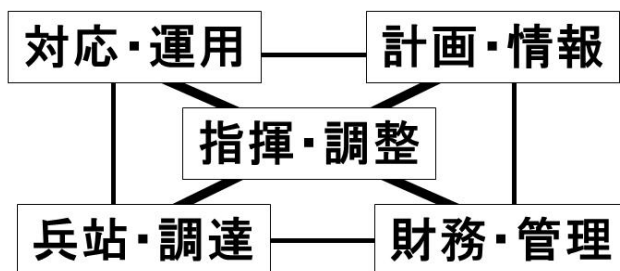
	年2回の火災訓練で活動する自衛消防隊に置き換えたイメージ	災害対応訓練時の役割分担
対策本部長 指揮・調整	自衛消防隊長に相当	意思決定および組織内外の調整
対応・運用	初期消火班 避難誘導班 安全防護班	人命救助チーム運用 二次災害防止チーム運用 被害確認・復旧チーム運用 (人と機材を効率的・効果的に活用し安全を確保して事案対応を行う)
計画・情報	通報連絡班	情報収集・分析・報告 対応計画検討
支援・調達	—	対応資器材の調達 交代要員の確保(人員支援計画含む) 施設・設備の調達・確保 協力業者連絡・連携
財務・管理	—	資金確保 災害対応活動記録 庶務その他

参考) Incident Command System

I C Sは、非常時指令システムとして自然災害や、各種事故や事件、感染症などの危機状況において、異なる組織を効率よく連携させ、対応策を迅速に実行するための組織構成である。通常組織に役割を割り振るのではなく、5つの役割に人員が配属される。

命令系統や管理手法が標準化されており、アメリカでは山火事やハリケーンに際して自治体・州軍・警察・消防・建設会社等がI C Sに参加して一元化された指揮系統の下で活動する。自主防災組織・地域防災、原子力災害、コンサート、パレードなど文化の異なる組織が相互に連携協力して対応する事案において活用されている。

I C Sの特性として、「達成すべき目標を設定して活動する」「計画し実行し評価し改善



する」「一人の管理限界を設け、下部組織は5つ程度」「交代制で運用し過剰勤務を避ける」「記録を残し引継ぎを行う」等、統合組織運用以外の面も参考となる。

●現地対策本部の基本方針

事案発生時において迅速に対応し、人命救助・二次災害防止を実施し、事業の早期再開・復旧を図り、サービスの継続と雇用を確保する。

●対策本部組織活動概要・活動のマニュアル

※この活動分担・マニュアルは、本訓練用合せて作成したもので ICS の任務分担と同様のものではありません。

★本部長（指揮・調整）	
事案発生	危険回避行動
活動準備	対策本部設置宣言・組織編成（参集可能人員で編成する）
	活動指示 ① 安全確認・点呼指示 ② 情報収集指示 ③ 装備・資器材確認指示
事案対応	① 計画情報班からの情報および対応計画を検討 ② 対応運用班に対応指示 ③ 支援調達班に本社との連携事項確認指示。不足機材等調達指示。 ④ 財務管理班に資金準備、活動記録、労務管理を指示
事案収束	対策本部解散宣言

◎対策本部設置宣言

宣言基準：発生した事案による影響が大きく、通常ของบริษัท組織で対応困難な場合あるいは震度5強以上の地震が大阪市又は東京23区内で発生した場合。

宣言：在事務所序列に基づき上位者が口頭にて宣言し、可能な連絡手段により本社・支店に通知する。

◎組織編成（参集可能人員で編成する）

対策本部組織編成：各班に対し、参集人員の割り振りを行う。

◎安全確認

「対応運用班」に対し自衛消防隊活動から引継ぎ、施設内の安全確保を実施させる。

「支援・調達班」に対策本部要員の確認と待機要員を確認させる。

◎情報収集

「計画情報班」に対し、傷病者および建物残留判断に関連する情報を収集させる。

「計画情報班」に対し、事案情報・社内情報・社外情報を収集させる。

◎装備・資器材確認

「支援・調達班」に施設・設備・備蓄・装備・資器材等を確認させる。

◎「事案対応」

基本方針に基づき、適切な対応を実施する。

★計画情報班		
事案発生	危険回避行動	
活動準備	情報収集人員体制確認（要員確保・点呼） 情報源確認・準備 <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> インターネット（機材・回線・接続先・情報源） <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input type="checkbox"/> ファクス	
	事案情報確認・本部長へ報告・記録	
事案対応 （情報収集）	社内情報収集 ① 建物被害状況の確認 ② 社内被害状況の確認 ③ 事業影響の確認 ④ 社員家族安否	社外情報収集 ① 事案情報の継続収集 ② 周辺地域情報 ③ ライフライン交通機関情報 ④ 取引先情報 ⑤ その他関係情報
	① 情報分析（リスク評価による対応優先順位検討） ② 現有対応資源の確認 ③ 優先対応リスクに対する対応計画検討 ・達成レベルあるいは目標（どこまで）の設定 ・活動継続時間（いつまでに）の設定 ④ 本部長への報告・実施支援 ⑤ 事案経過に基づく対応優先順位方針の再検討 ⑥ 任務終了チームの任務解除計画の検討	
事案収束	活動記録整理	

◎人員体制・情報源確認

配置人員を確認・記録し、使用可能な情報源を確認し本部長に報告する。

◎情報収集

各班および社員等からの社内情報・関連情報を収集し記録する。

使用可能な情報源を活用し社外情報を収集し記録する。

情報を分析・評価し本部長に報告する。

◎事案対応

情報を基に、対応優先順位を検討し対応計画を策定する。（別添・事案対応計画シート）

★対応運用班	
事案発生	危険回避行動
活動準備	対応組織編成・資器材準備 (本来であれば、対応運用班の下に複数の対応チームが活動します。 今回の訓練では実活動は行わないためリーダーのみとなります。)
事案対応	発生した事案に対し計画情報班が示した対応方針・計画に基づき対応を実施する。(本訓練では実対応は行わない) 例) ・ 地区担当チーム(現場側対応チーム)による活動(2階自衛消防隊等) ・ 対処チーム(機材を有するスペシャルチーム)による活動(支援救護班、漏水止水対応チーム等) ※対応運用側が主導して事案対応を行った場合、全体としての優先順位や対応資源・時間配分等にバランスを欠く場合があるため、実施側(対応運用)と幕僚側(計画情報)に別れている。
事案収束	活動記録整理

* 訓練進行

- ・ 自衛消防隊の「初期消火班」「安全防護班」「応急救護班」は二名を1カードにして複数枚用意します。対応チームの「駒」として他の社員と合せて編成します。
- ・ 東京支店側で建物在館社員の「営業課」「購買課」「総務課」「財務課」の一部を二名・1カードにして複数枚用意します。対応チームの「駒」として他の社員と合せて編成します。

編成されているチームは、自衛消防隊を軸とする2つの対応チームが編成済み。

「3階事案対応チーム」・・・3階の自衛消防隊

「4階事案対応チーム」・・・4階の自衛消防隊

事案推移と共に、支援・調達チームと調整し下記のような対応チームを編成し対応する。

「応急救護支援チーム」

「設備・通信対応チーム」

「事業・営業対応チーム」

対応は事案対応計画に基づき実施する。

支援調達班	
事案発生	危険回避行動
活動準備	<p>対応組織編成・備蓄品および事案対応資器材等の対応資源準備（施設・設備・車両等も含む）準備</p> <p>① 備蓄品・資器材リストおよび現物の確認</p> <p>② 施設・ライフライン・通信等の確認</p> <p>③ 関係先リストの確認</p>
事案対応	<p>計画情報班、対応運用班と連携し、人員・資器材・施設・通信・医療・食糧・輸送他の対応資源に不足が無いように手配するとともに、不測の場合には代替え調達等を行う。</p> <p>① 現有対応資源の効率的運用計画の検討</p> <p>② 調達必要品の検討と優先順位確認</p> <p>③ 調達先連絡、物流調整</p> <p>④ 被災した施設・設備の機能回復もしくは代替えの検討</p> <p>※今回の訓練では、東京地区からの購入可能品は即時。東京地区以外からの調達品（輸送に時間がかかる想定）は三日後に現地到着とします。</p>
事案収束	資器材撤収、施設・設備再開および復旧、活動記録整理

◎備蓄品・資器材リストおよび現物の確認

備蓄品・資器材カードにて確認する。出庫時・使用時はカードを対応チーム側に渡す。

◎施設・ライフライン・通信等の確認

訓練進行に合わせて状況が付与される。なお、通信輻輳等により必ずしも繋がらない場合もある。

◎関係先リスト

現物は無いが、整備されているとの想定で実施する。

◎事案対応

備蓄品・資器材カードにて利用可能資器材を確認し、調達計画を検討する。

不足分については本社側と連携し、中長期の視野を持って対応する。

☆施設の被害、周辺被害を鑑み事業の早期再開・復旧に向けた検討を行う。場合によっては代替え施設を確保し拠点移動も検討する必要がある。

財務管理班	
事案発生	危険回避行動
活動準備	① 即時使用可能現金金額確認 ② 金融機関調達可能現金確認 ③ 緊急時の資金繰り確認 ④ 労務管理体制確認 ⑤ 活動記録体制・機材確認
事案対応	① 活動資金調達 ② 事業資金調達（中長期の資金繰り等） ③ 人的資源管理（過剰勤務防止等労務管理）交代制運用 ④ 本部活動記録
事案収束	清算および平常体制以降

◎即時使用可能現金金額確認

大阪本社の金庫には150万円・通常取引はネットバンキングを活用
 東京支店の金庫には30万円（交通費等の小口現金分として用意してある）

◎緊急時の資金繰り

今回の訓練では取り扱わない

◎労務管理体制

東京支店側の現地対策本部要員について交代制を敷く

◎拠点移動する場合には、拠点開設・資器材再調達に関わる資金需要の概算を大阪本社と協力し検討する。

事案対応計画シート（計画情報班）

発生事案		
場所		
想定影響		
対応資源	人員	
	資器材	
	資金	
	情報	
目的・目標	目的	
	目標	
	期限	
プロセス		

営業部公共営業課・
山田社員と連絡が
取れない。

G R型受信機
3階 西階段
防火戸作動。

G R型受信機
4階西側備品倉庫内
煙感知器作動。

同ビルナントより、
7階「火災発生」
の連絡。

G R型受信機
3階 給湯室
熱感知器作動。

同ビルナントより、
7階「火災延焼中」
の連絡。

G R型受信機
2階事務室西側
スプリンクラー作動。

警備員より、
西側の三つ隣のビルで
火災発生の通報。

G R型受信機
3階東側応接室
煙感知器作動。

設備員より、
北隣りの4階建ての
ビルが倒壊の連絡。

エレベーター全号機
高ガル地震管制作動

廊下の照明が消灯。
非常灯のみとなった。

2号機エレベーター
インターホン。
監査室・高橋次長
(男性) 閉じ込め通報。

東京湾に5mの
大津波警報発令。

全館停電、
非常口案内灯のみ点灯
(自家発作動するも
非常用機器のみ)

設備員より、
全館断水の連絡。

設備員より、
3階部分停電連絡。

設備員より、
2階部分断水連絡。

テナントより、
4階事務所内の
天井照明が三基落下。
天井照明が使えないと
連絡。

テナントより、
6階の水道から
水が出ないと連絡。

テナントより、
5階のトイレの水が
流れないと連絡。

設備員より、
3階空調停止の連絡。

建物東側で上階より
ガラス落下。
路上に散乱の連絡。

1階エントランス正面
自動扉ガラスが
割れて落下。

4階東側のガラスが
落ちて割れた連絡。

固定電話が輻輳して
使用できない
と連絡。

建物周辺で泥水が
湧き出て
1階エントランスに
5センチ浸水。

KDDIの携帯電話
が繋がりにくく
なっている。

設備員より、
全館空調停止連絡。

建物周辺で、
液状化現象が発生
していると連絡。

外周敷地内で、
落下物に当たって
倒れている人が居る
との通報。

社員 1 名が、
書庫の下敷きに
なっていると連絡。

扉が変形して、
応接室内に数名が
閉じ込められてい
ると連絡。

2 階事務室より、
天井材やダクトが
落下したと連絡。

警備より、
1 階エントランスが
高層階テナントで
混雑状態と連絡。

5 階テナントより、
従業員が足を怪我
したので協力してほ
しいと連絡。

6 階より、
社員が怪我をして
意識が無いので協力
してほしいと連絡。

屋外で、
落下物に当たり、
負傷者発生との連絡。

顧客の佐藤産業から
被害の問い合わせ
電話が入った。

天気予報では、
1 時間後に 35 ミリの
大雨の予報。

天気予報では
2時間後に
1時間60ミリの
大雨の予報。

東隣のビルから、
建物の状態に関する
問い合わせが来た。

周辺の主要な道路が
混雑で車は動かない
との情報。

最寄駅の鉄道全線が、
運転見合わせと
なっているとの情報。

地域住民が、
周辺道路に集まって
きていると連絡。

建物前の道路で、
交通事故が起き
怪我人が出ている
と通報。

テナント従業員より
女性1名が3階
西階段で転倒し、
動けないと連絡。

設備員より
立体駐車場が
故障したと連絡。

敷地内の自動販売機
が1台転倒している
との連絡。

2階営業管理部より
パーテーションが
倒れたとの連絡。

設備員より
駐車場で車から
ガソリンが
漏れていると連絡。

江東区東大島周辺で
荒川の堤防が決壊。
30cmの浸水
とラジオ報道。

設備員より、
屋上機械室でオイルが
エレベータ関係の配管
から漏れている。
と連絡。

2階事務室内の
事務室内の天井や
ダクトが落ち、
さらに落ちてくる
危険がある。

9階テナントが、
施設から完全退避
するとの申し出。

2階事務室西側の
天井の破損した配管
より漏水
(1リットル/分程度)

建物周辺に、
瓦礫等が
散乱している。

3階事務室東側の
天井の破損し漏水
(ポタポタ程度)

荒川区東尾久周辺で
隅田川の堤防が決壊。
濁流が荒川区に
流れ込んでいる
とのラジオ報道。

外周点検中の社員が、
通りがかりの母子
(子供は幼稚園くらいの
女の子)より、
食料提供を求められた。

外周点検中の社員が
通りがかりの老人
(70才くらい)より、
水分提供要求あり。

町内会より、
水50本の
提供を求められた。

町内会から、高齢者
10名ほどを会議室
に一時避難させて
ほしいとの要望あり。

エレベーター会社と
連絡が取れない。

給排水設備関係の
出入の設備業者と
連絡が取れない。

電気設備関係の
出入り業者と
連絡が取れない。

50メートルほど
離れた倒壊木造家屋
から、黒煙が出て
いるとの連絡あり。

8階テナントから、
500メートルほど
離れた工場から黒煙
が出ているとの
連絡があった。

空調停止により、
室温が(上昇・
低下)し、環境悪化。

天気予報によると
今晚は冷え込みが
厳しく気温は5度を
下回るらしい。

天気予報によると、
明日朝は冷え込みが
厳しく気温は0度を
下回るらしい。

天気予報によると
明日は雨の確率が
80%である。

天気予報によると、
これから西風が強く
なり一時は
10mに近い模様。

1階の柱に、
ヒビ割れ発生。

営業部社員より、
2階の柱が変形して
いるようだ
との連絡。

トイレについて
3階事務室から
問い合わせ。
「使えない様だがどう
すれば良い？」

経理部の女子社員が
倒れた。
貧血の様である。

営業管理部の
女子社員1名が、
子供が心配なので
和光市まで歩いて
帰ると言い出した。

営業部の男子社員1名
が、老母が心配なので
船橋市まで歩いて帰る
と言い出した。

天候が悪化し雪が
降り出した。
予報では一晩中降る
見込みである。

天候が悪化し雨が降り出した。予報では弱雨であるが一晩中降る見込みである。

1階エントランスで、帰宅困難者同士のトラブルが発生した模様。

台風並みの低気圧が接近しており、6時間後には風雨が強まる見込み。

下水に流さないよう区の職員が連絡に来た。下水道に問題が生じた様子。

営業部員1名が右腕を骨折。応急処置はしたが痛がっている。

液状化現象により、地下1階に浸水との報告。現在は泥水が床を濡らす程度だが、壁のあちこちから漏水していて止水が困難。

ドコモ・ソフトバンクの携帯電話が繋がりにくくなっている。

エントランスが自主避難した9階のテナントが寒いので、2階の会議室に避難させてほしいと申し入れ有。9階は揺れて怖いとの事。

3階営業部勤務の車椅子利用社員についてエレベータが使用できないため、今のうちに1階に人力で下したいとの申し入れあり。

外出中の営業部員5名と連絡が取れない。山田、田中、中村、村山、山中。

来客の鈴山工業
営業員 1 名が、
品川の会社に帰る
と申し出てきた。

最寄駅の地下鉄
全線が運転見合わせ。

顧客データが入っている
サーバーが倒れた。
バックアップ（大阪本社近くの
データセンター）は夜のため、
東京支社の今日の午前中の
データが喪失の可能性あり。

4 階営業部・営業
管理部の卓上 P C
1 5 台中 1 0 台が
落下破損。

3 階営業部のノート P C
保管庫が天井落下で転倒、
約 1 0 台が取り出せない。
(5 台のみ事務所内で無事)

建物 1 階正面玄関・
自動扉のガラスが
破損し、閉鎖が
できない。
人が通れてしまう。

地震発生後の点呼で
在館が確認された
営業部・熊本社員の
所在が不明。

営業部・徳島社員が
地震発生後に
「ちょっと出てくる」と
言ったきり、
3 時間たっても戻らない。

建物前の道路で、
交通事故が起き
右足複雑骨折の
重傷者が出ている。

営業管理部の鳥取係長
から、本日分の営業
データは喪失との連絡。
昨日までは本社側に
バックアップ。

扉枠変形で、
2階備品倉庫内に
女性従業員1名の
閉じ込め発生。

電話機のPBXが停止。
再立ち上げの手順を
知っている東京支社
庶務課の富山主任は
本日休暇中。

停電のため事務所が
暗くなり、女子社員
より心細いとの
申し入れあり。

近くの避難場所指定
「浜町公園」は、
人で一杯との情報。

非常灯が落ち、
館内の窓が無い
部分は暗闇となる。

周辺の主要な道路の
歩道が、人で
混雑して動きにく
いとの情報。

ビルの高架水槽が
破損し、
屋上出入り口より
館内に水が流入。

ビルのショーウイ
ンドウ等の
ガラスが破損。

ビルの室内の壁面に
クラックが発生。

安否確認は作動
するが、100人中
70人しか返事が
来ない。

社員が家族から
災害伝言ダイヤルで
助けを求めている。

5 mの津波警報が
発令される。
2階の人が
避難してくる。

近隣の店が
閉まっている。

事務所の3枚の
窓ガラスが割れて
落ちた。

ベトナムからの
出張者が、早く帰国
させてくれと
泣きながら訴える。

SNSで、
100m先の商店街で
暴動が起きている
という噂が流れる。

翌日、栃木の顧客に
納品する品が、
横浜港に着いて
しまっている。

SNSで、富士山の
噴火レベルが
上がったという
噂が流れる。

800m先にある
市役所で、
食糧の配布が
始まった。

メディアから
「政府が帰宅させない
ように要請している」
との情報。

対策本部要員の
右腕骨折。
→ 応急手当後に
右腕を固定した
まま訓練。

対策本部要員の
左足骨折。
→ 応急手当後に
左足を固定した
まま訓練。

対策本部要員が落下物に
よる頭部裂傷(意識朦朧)。
→ 応急手当後に
対策本部要員から離脱。

正面出入口が
ドア枠変形により
開かない。

漏水により書類
(紙)が濡れ、
筆記できない。

蛍光灯落下により、
デスクや床面に
破片散乱。

対策本部要員の
メガネが紛失
→メガネ使用不可。

対策本部要員が
落下物による
右手掌裂傷。
→ 応急手当後に右手
使用しない条件で訓練。

空調機が近隣火災の
煙を吸い、
室内に煙流入。
延焼の危険はない。

書類が散乱し、
マニュアルなどの
書類を見つけられ
ない。



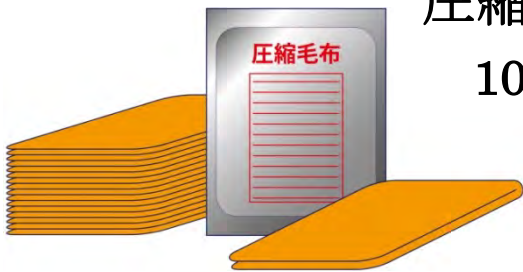
食糧
30食

10点



飲料水 500ml
50本

5点



圧縮毛布
10枚

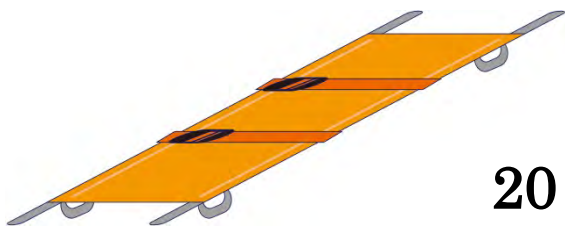
20点



エマージェンシーシート

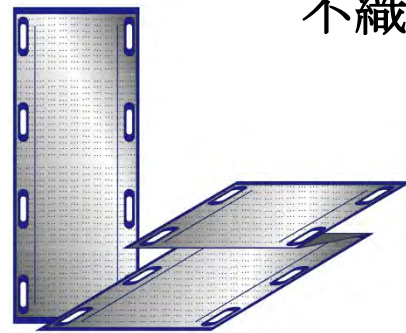
10個

5点



担架
1個

20点



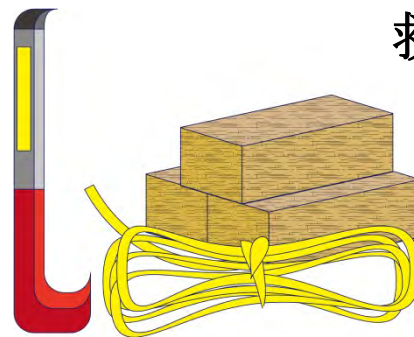
不織布担架
1枚

1点



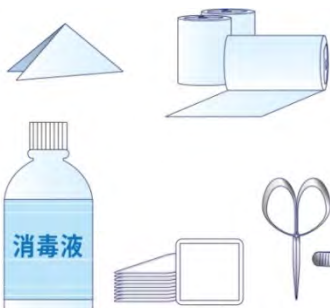
ラジオ
1台

3点



救出機材
1セット

4点

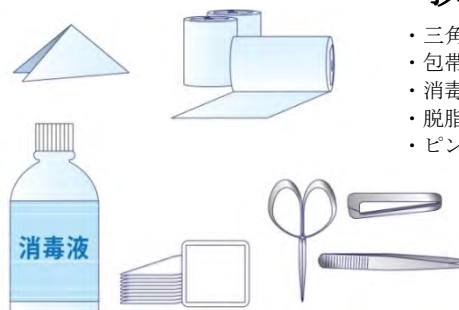


救急セット

- ・三角巾 10枚
- ・包帯 10個
- ・消毒薬 1本
- ・脱脂綿 5パック
- ・ピンセット等

10人用

10点



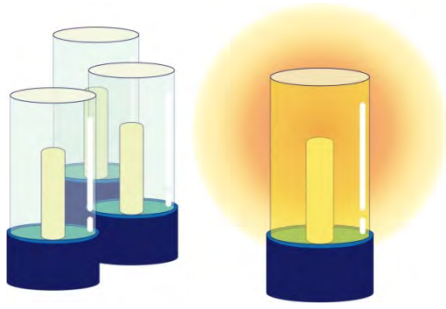
救急セット

- ・三角巾 10枚
- ・包帯 10個
- ・消毒薬 1本
- ・脱脂綿 5パック
- ・ピンセット等

30人用

20点

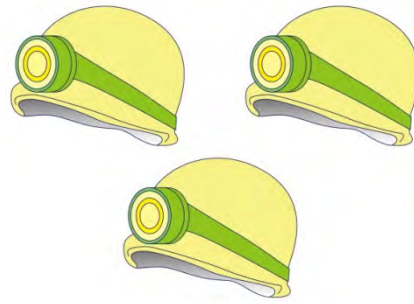
LED ランタン



3 個

10 点

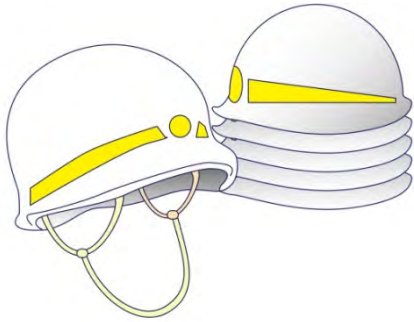
ヘルメットライト



3 個

10 点

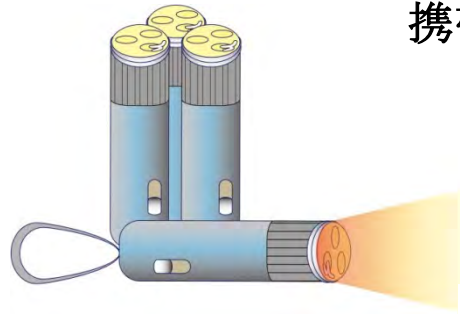
ヘルメット



10 個

10 点

携帯ライト

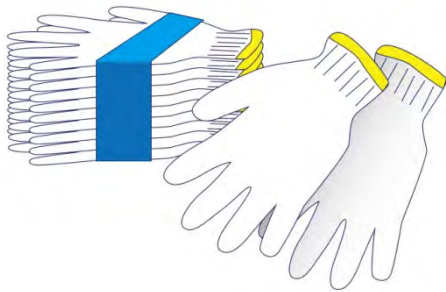


3 本

10 点

軍手

防刃作業グローブ



10 枚

1 点

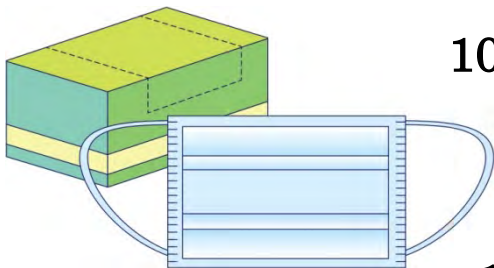


10 枚

10 点

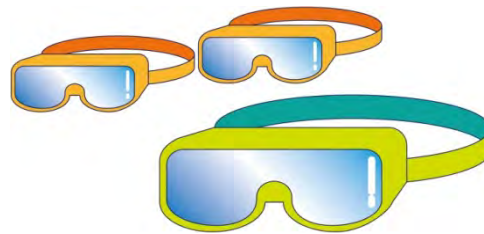
マスク (サージカル)

作業ゴーグル



100 枚

1 点



3 個

1 点

エンジン発電機

ポータブルガスコンロ
ケトル・ボンベ (3本)



1 台

15 点



1 セット

3 点



初期消火班 2名



初期消火班 2名



初期消火班 2名



救護班 2名



救護班 2名



救護班 2名



安全防護班 2名



安全防護班 2名



安全防護班 2名



安全防護班 2名

情報付与を音声で行う場合

マスコミシナリオ案・訓練（地震発生直後）

- ◇ 地震発生直後の建物安全確認、火災初期消火、人命救助等の初動対応が終了した以降の状況を想定。
- ◇ アナウンサー役の方が、会場で読み上げます。（抑揚を抑えてゆっくり読む）
- ◇ アンダーライン部は、新たに加わった情報。段々、状況が明らかになり被害拡大が深刻になりますので、時々新しい情報を加えて出す必要があります。
- ◇ 情報は相反する場合もあります。必ずしも正しい情報ばかりではありません。わざとベクトルが異なる情報を入れると訓練の難易度が上がります。例・最初は「海岸部には近づかない」後「津波の心配なし」。

時間		備考
	状況開始 地震発生直後の緊急時対応活動（人命救助・二次災害防止・建物被害確認は終了した状況）	
1分	ニュースをお伝えします。 先ほど関東地方を中心とする広い範囲で強い地震がありました。スタジオの地震計では震度6弱を表示しています。	
1-5分	地震に関する情報をお伝えします。 さきほど関東地方を中心とする広い範囲で強い地震がありました。 <u>海岸部には近づかないでください。</u> <u>各地の震度は次の通りです。</u> 千代田区、で震度7。 港区、中央区、文京区で震度6強 新宿区、渋谷区、目黒区、大田区で震度6弱 繰り返します。 先ほど関東地方を中心とする広い範囲で強い地震がありました。スタジオでも大きなゆれを確認し、地震計では震度6弱を表示しています。 各地の震度は次の通りです。 千代田区、で震度7。 港区、中央区、文京区で震度6強 新宿区、渋谷区、目黒区、大田区、 <u>荒川区、川崎市の一部、浦安市の一部</u> で震度6弱。 <u>世田谷区、豊島区、台東区、北区、品川区、江東区、杉並区、豊島区、中野区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、埼玉県川口市</u> で震度5強。	東京地区での大きな地震であることを示唆。 震度情報がやや細くなる
6-10分	地震に関する情報をお伝えします。 さきほど、関東地方を中心とする広い範囲で強い地震がありました。気象庁の発表では震源地は千代田区。震源の深さは約 20キロ。地震の規模はマグニチュード7.2。 <u>この地震で津波の心配はありません。</u> <u>また、J R東日本、J R東海、私鉄各社、地下鉄は関東地方の全線で運転を見合わせています。</u> <u>東京電力によりますと、都内の一部で停電が発生しています。</u> 各地の震度は次の通りです。 千代田区、で震度7。 港区、中央区、文京区で震度6強 新宿区、渋谷区、目黒区、大田区、荒川区、川崎市の一部、浦安市の一部で震度6弱。世田谷区、豊島区、台東区、北区、品川区、江東区、杉並区、豊島区、中野区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、埼玉県川口市で震度5強。 気象庁の発表では震源地は千代田区。震源の深さは約20キロ。地震の規模を示すマグニチュードは7.2。この地震で津波の心配はありません。	地震の概要について判明 通信輻輳の影響を入れる（有線の固定

	<p><u>NTTによりますと、関東地区の広い範囲で電話がかかり難くなっています。</u> <u>また、携帯電話各社によりますと、携帯電話の通話もかかり難くなっています。</u> <u>安否確認は「災害用伝言版」などを利用するよう呼びかけています。</u> <u>安倍総理大臣は緊急災害対策本部を開催し、自衛隊や警察緊急広域援助隊を派遣し、救援救助活動に全力を挙げるよう指示しました。</u> <u>東京消防庁によりますと都内数カ所で火災が発生しています。</u> <u>繰り返します。・・・(数回繰り返す)</u></p>	<p>電話はかからなくなる) 現場ではあまり重要ではない情報も入る</p>
<p>11-20分.</p>	<p>地震に関する情報をお伝えします。 さきほど、関東地方を中心とする広い範囲で強い地震がありました。気象庁の発表では震源地は千代田区。震源の深さは約 20キロ。地震の規模はマグニチュード7.2。この地震で津波の心配はありません。 <u>なお、強い揺れを伴う余震の可能性ががあります。倒れやすい家具や壁などからは離れてください。</u> スタジオからニュースを続けます。 JR東日本、JR東海、私鉄各社、地下鉄は関東地方の全線で運転を見合わせています。 <u>東海道新幹線は東京・静岡間で、東北新幹線は東京・宇都宮間で、上越・北陸新幹線は東京・高崎の間で運転を見合わせています。</u> <u>羽田空港、成田空港共に現在は運行を見合わせています。</u> 東京電力によりますと、東京23区の一部で停電が発生しています。 <u>先ほどの上空のヘリコプターからの中継では、都内で火災が発生しているようです。お近くの方は周辺の状況に気を付けてください。避難の際には周囲に注意して行動して下さい。</u> <u>今、新しい情報が入りました。勝鬨橋が崩落して通れなくなっています。台東区南千住で堤防の護岸が大きく崩れ隅田川の水が流れ込んでいるとの情報です。</u> <u>また、川崎市によりますと川崎港で給油作業をしていたタンカーが火災が発生したと発表されました。</u> <u>気象庁では、今回の地震での津波の危険性はないと発表しました。</u> 今日午後、関東地方を中心とする広い範囲で非常に強い地震がありました。気象庁の発表では震源地は千代田区。震源の深さは約20キロ。地震の規模を示すマグニチュードは7.2。この地震で津波の心配はありません。 各地の震度は次の通りです。 千代田区、で震度7。港区、中央区、文京区で震度6強 新宿区、渋谷区、目黒区、大田区、荒川区、川崎市の一部、浦安市の一部で震度6弱、世田谷区、豊島区、台東区、北区、品川区、江東区、杉並区、豊島区、中野区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、埼玉県川口市で震度5強。 <u>東京消防庁によりますと、新宿区下落合、台東区浅草、江東区菊川、品川区大井町で火災が発生しています。</u> <u>鉄道の状況です。JR山手線は秋葉原駅構内で脱線し、線路の一部が崩落したとのことです。現在JR各線は運転を見合わせています。</u></p>	<p>交通情報が具体的になって行く 火災情報を繰り返し、周辺火災を示唆 (建物内待機あるいは、周囲の情報収集を示唆する)</p>